

2020年6月16日付 韓国環境部プレスリリース

野生イノシシ ASF 拡散遮断のための対応強化

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1378490&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

環境部(長官ジョミョンレ)は、草木の生長や梅雨期到来など夏季の環境変化に対応し、死体捜索およびフェンス管理を強化する計画だと明らかにした。

【GPS を活用した死体捜索】

ASF 拡散遮断のために死体捜索に位置情報システム(GPS)情報管理を導入するなど対応を強化すると明らかにした。

*GPS:位置情報システム(Global Positioning System)

環境部は ASF 発生初期から死体捜索専門担当チームを運営し、感染源になりうる死体を除去してきた。約 250 人を捜索チームとして任命し、現在の発生地域および近隣地域 10 市郡において、毎日死体捜索を実施している。

しかし最近、死体発見件数が減少*している。これは個体数減少以外に、草木の生長などによる捜索効率の低下も影響を及ぼしていると推定される。

*死体発見件数は 3 月 326 件→4 月 273 件→5 月 139 件

この状況変化を受け、環境部は死体捜索人員に GPS を支給し、体系的に死体捜索チームを運営する計画である。

○捜索チームに支給される GPS 装備により、捜索経路がリアルタイムで送信され、捜索チームを効率的に運営することが可能となる。捜索範囲および感染範囲を把握するのに役に立つ。

○環境部は、まず陽性個体が多い漣川郡(ヨンチョンゴン)と華川郡(ファチョンゴン)の死体捜索チームを対象に試験運営*し、徐々に運営範囲を拡大する計画である。

*GPS 普及計画:漣川郡 56 個、華川郡 50 個(捜索チーム全員)

【フェンス一斉点検】

また、環境部は、梅雨に備え 6 月 15 日から 19 日までフェンスに対する一斉点検を実施する計画である。

広域フェンスは国立生態院と漢江（ハンガン）流域環境庁および原州（ウォンジュ）地方環境庁が点検を実施し、2 次フェンスは該当地方自治体が点検を実施する。

点検を通じ、地盤が弱まった場所やフェンスの瑕疵が見つかった場合直ちに補強する。また、フェンス区間現場管理員との緊急連絡体制を維持し、フェンス管理を徹底する。

以上